

I 経営概況

1. 第3期経営計画の開始

令和6年度は第3期経営計画（令和6年度～令和10年度、以下「第3期計画」と略す。）の初年度でした。第3期計画の目指す将来像である、「挑戦」、「人財」、「社会貢献」、「協働」を全社員が認識し方向性を共有して活動するために、「第3期経営計画」社員配布版を製作し全社員に配布いたしました。また、マネジメント層に対しては、研修において第3期計画の概要と方向性を踏まえたSWOT分析のグループワークを実施し、理解を深める等により、第3期計画の目指す方向性の全社員による共有を図りながら、さまざまな事業活動を展開いたしました。

2. 公社経営に影響を及ぼす外的要因

秋田県全体の課題となっている、人口減少と少子高齢化の傾向は留まることがありません。秋田県の人口は、令和元年7月から令和6年7月までに約7万人の減少となり90万人を割り込み、かつ、高齢化率は37.2%から39.7%へと上昇を続けております。令和6年度はこのような厳しい外的要因の変化に諦めることなく、利用者確保と収益確保への挑戦を続けた1年となりました。

3. 新県立体育館PFI事業

秋田県では、現県立体育館の建替えにPFI手法を導入し、令和6年12月に二回目の入札が実施されました。公社は、三菱HCキャピタルグループの一員として、維持管理・運営部門を担う立場で参加しましたが、令和7年3月7日に入札結果が公表され、当グループは受注することができませんでした。PFI手法は、設計・建築と維持管理・運営を担う企業体等が、一体となって提案金額と提案内容を競う事業です。当グループにおいては、設計・建築経費が他グループより高額となり、その価格差を維持管理・運営等の加点評価で逆転できなかったことが敗因と分析しております。

新たな事業手法に果敢に挑戦し、運営、自主事業及び地域経済への貢献の項目では最も高い評価点を得るなど、一定の評価を得たことは事実ですが、受注できなかったことを真摯に受け止めるとともに、今回の民間企業との共同プロジェクトの経験を活かし、公社の企業価値の更なるブラッシュアップ、新たな事業の創出及び収益となりうる新たな対象施設の検討などを、今後しっかりと進めてまいります。

4. 第3期計画における将来像を目指した活動実績

「挑戦」においては、県立武道館は令和5年度に管理候補者に指定されたことにより、令和6年度から新たな指定管理期間が開始となりました。しかし、県立武道館は令和8年度から向浜スポーツゾーンに編入されることが予定されており、令和7年度に再度申請が必

要となっております。また、県立循環器・脳脊髄センターと交渉を行い、令和7年度から3年間の業務を受託することができました。公社が管理運営する11施設については安全・安心な維持管理及び運営を推進し、前年度を上回る利用者数を確保し、利用者アンケート調査では満足度も90%を超える評価をいただきました。

さらに、収益の確保を目指した事務所チャレンジ支援事業制度を新たに創設し、向浜スポーツゾーン総合事務所にて「トレーニングルーム整備事業」を開始いたしました。各施設においても、継続事業については収益を拡大する工夫を凝らすとともに、中央公園のハルノ市など、新たな利用者の確保と利用促進を目的とした新規事業に挑戦いたしました。

業務の効率化を目的として、全社的にDX人材育成研修を実施するとともに、DX推進計画策定に向けた業務の棚卸しを実施いたしました。引き続き令和7年度は具体的なITツールの導入などを検討してまいります。また、秋田県の指定管理施設へのキャッシュレス決済の導入にあわせ、自主事業収入や利用料金併用制の施設においても同様の対応を行い、利用者サービスの向上に努めてまいります。

「人財」の育成を目的に、中堅層を対象とした自律的思考獲得研修を開催し、自発的に考え行動できる人材の育成を図りました。同時に、総合職社員だけではなく、主任以上の限定社員も対象としたコンプライアンス研修と、全社員を対象とした顧客対応研修の実施により、公社全体の「人財力」の底上げを図ってまいりました。更に、令和4年度からの第1期研修計画の実績と課題を踏まえて、令和7年度から令和9年度までの第2期研修計画を策定いたしました。

社員の就業意欲の向上に資するため、給与制度の見直しを行い、社員全体の賃金水準の向上に取り組みました。9月には秋田県健康経営優良法人に認定され、令和3年度から連続4期の認定団体となりました。

事業活動を通じた「社会貢献」として、あきた芸術劇場ミルハスでは、視覚や聴覚に障がいがある方々への音楽鑑賞機会を提供するサービスを実施いたしました。また、バックステージツアーにおいて、子どもたちが舞台装置を実際に操作する、お仕事体験を2回実施いたしました。

令和6年度は市街地での熊の出没が多かった年であり、公社管理施設周辺も例外ではありませんでした。8月には県立武道館に隣接する秋田カントリークラブでの熊の目撃情報を受け、武道館社員が轟音玉（ごうおんだま）3発を爆発させ、威嚇に協力しております。県立中央公園でも3件の熊の目撃情報があり、同様に轟音玉による威嚇と巡回強化を実施いたしました。

令和４年度に秋田公立美術大学附属高等学院との「協働」により産み出された、県立スケート場公社オフィシャルキャラクター「かまくまくん」について、令和６年度は商標登録と具体的な商品化を進め、スケート場オープン時から販売を開始いたしました。令和７年度は商品のラインアップの充実等を図っていくこととしております。

Ⅱ 第３期計画重点事項の達成状況

1. 挑戦

(1) 安全な施設管理

令和６年度は、公社が管理する全施設において安全な施設管理を実施し、設置者や委託者より高い評価をいただきました。

管理施設のうち、県立野球場と県営陸上競技場では大規模改修が実施されました。県立野球場では、漏水対策として内野席床面の防水塗装膜を塗り直す改修を５月２７日から令和７年１月末まで実施いたしました。クレーン車を使い全ての内野席を一旦撤去し、防水塗装膜を塗り直した後に再設置しました。工事は無事に完了し、令和７年４月２６日から開場いたしました。



県立野球場

県立中央公園の県営陸上競技場では、日本陸上競技連盟（ＪＡＡＦ）と国際陸上競技連盟（ＩＡＡＦ）の公認に必要な改修工事を９月から開始し、令和７年１月には更新を完了しました。これにより、日本選手権や国民スポーツ大会などの全国規模の大会、さらには国際大会の開催も可能となりました。



県営陸上競技場

一方で、県立総合射撃場では、６月２日に施設内の電源ケーブルが落雷により破損し、ライフル棟への電力供給ができない状況が発生しました。事故発生後は、自家発電機を使った大会運営や施設の臨時閉場などにより対応した後、県による復旧工事が実施され、令和７年３月１日より営業を再開しております。

効率的な設備機械の導入として、県立スケート場にはリンクの整氷作業を行うアメリカ製作業車が1台、1年がかりで導入されました。環境保全センターでは、水処理施設に設置されている「ばっ気ブロワー」と「流量調整槽ブロワー」計8台に、省エネ効果の高いインバーターが10月に導入されました。



整氷作業車

管理施設周辺の樹木管理活動として、向浜スポーツゾーンで県による松枯れ木の伐採が行われた他、県立中央公園では樹木点検作業を行うなどにより、施設来場者への被害防止を図りました。

(2) 収益の拡大と新たな利用促進

県立総合プールでは、幼児や児童を対象とした公社主催の水泳教室が好調で、事業活動を通じた収益向上につながっております。教室希望者は毎回定員を超えるため、抽選で決定するなど工夫しております。

県立中央公園では、酷暑を避けた屋外イベントとして、10月13日には児童を対象にした「秋の謎解き大冒険」を開催し、児童83名とその保護者が参加しました。あきた芸術劇場ミルハスでは、11月11日にミルハス初となる「松竹大歌舞伎公演」を開催し、515名が鑑賞しました。



秋の謎解き大冒険



松竹大歌舞伎

また、施設の新たな利用方法として、県立スケート場では中小企業団体中央会主催の「高校生向け企業合同説明会」が開催されました。県立武道館では、幼稚園や保育園行事の利用が増加しております。大型屋内施設において、天候の影響に左右されないイベントの新規利用など、本来のスポーツ利用以外の需要が増加する傾向にあることを踏まえ、今後の利用促進へつなげていけるよう努力してまいります。

(3) 利用者サービスの向上

令和6年度から、県立武道館と県立体育館では、利用者サービスの向上を目的に、スマートフォンやパソコンから、24時間施設の空き状況の確認や施設予約ができる予約システムを導入いたしました。また、県立中央公園では、全国の多くのキャンプ場で利用実績がある予約システム「なっぷ」を令和7年度から利用開始できるよう準備を進めております。

(4) 業務の効率化・データの見える化

1) 業務の効率化

県立スケート場では、盛岡市アイスリンクを視察研修後、管理運営方法の見直しを行いました。氷上整備車の作業ルートを見直した結果、リンク整氷作業の周回回数を削減することが可能となり、作業時間の短縮や燃料の節約につながりました。併せて、貸靴コーナーのセルフ化と、それに伴う場内レイアウトの見直しを行いました。セルフ化を導入したことで、貸靴対応の社員を氷上整備作業時に増員することができ、リンク整備における安全性の向上を図ることができました。また、場内レイアウトを変更した結果、休憩スペースを拡大することができ、利用者サービスの向上につながりました。



県立スケート場レイアウト変更

2) データの見える化

D X人材育成研修では、講師より各事務所・各部における業務調査表の作成が指示され、それに基づき後日講師が各事務所に赴きヒアリングを実施しました。令和7年度は、そのヒアリング分析結果を参考にしながら、各事務所・各部のD X推進担当者が中心となり「D X推進計画」を策定し、I Tツール導入や業務処理システムの改善などを進めてまいります。施設管理部では、電気・燃料の月別使用量を一覧表にまとめ、見える化することで、日常的に全社員が省エネを意識できるようにいたしました。また、県立循環器・脳脊髄センターにおいては、日々の作業内容及び引継ぎ事項の記録や、これまでの工事履歴などをデータ化し、経験の少ない社員でもミスやロスなく検索し対応できるよう、情報の共有化・見える化を進めております。

2. 人財

(1) 社員の就業環境の充実

社会経済情勢及び公社の経営状況を踏まえつつ、社員の就業意欲の向上及び新規人材の確保を図るため、給与制度を見直し、全社員の賃金を増額する処遇改善を行いました（令和7年4月1日施行）。また、育児・介護休業法の一部改正に伴い、社員就業規程の休暇に養育両立支援休暇を加えるなど、仕事と育児・介護を両立しやすい働き方が実現できるよう改正を行いました。

(2) 第2期研修計画

第1期研修計画（R4～R6）では、全社員を対象にコンプライアンス研修や顧客対応研修などを実施し、管理者層にはマネジメント研修を行いました。

令和6年度は、これらの研修に加え、中堅層を対象としたオーダーメイド型研修「自律的思考獲得研修（全3回：7月25日、10月9日、11月29日）」を行い、12名が受講しました。11月1日には、中央公園事務所を会場に、他の事務所員との情報交換や業務への理解を深めることを目的に「事務所間交流研修」を開催し、5名が参加しました。さらに、第3期計画に掲げる将来像のひとつである「人材」の実現に向け、研修による人材育成をさらに進めるため、第1期研修計画の成果と課題を踏まえ、「第2期研修計画（R7～9）」を令和7年1月に策定しました。



自律的思考獲得研修

施設管理能力の向上を図ることを目的に、県内外の施設などへの先進地視察研修を行いました。向浜スポーツゾーンでは、秋田県高校野球連盟と連携し、令和6年8月13日～15日まで「甲子園グラウンドキーパー研修」に2名が参加しました。研修では、甲子園球場で開催された全国高等学校野球選手権大会のグラウンド整備に実際に参加し、グラウンドの耕起作業や甲子園球場で使用している雨水吸着シートの使い方を学びました。今後の県立野球場の整備に、研修で学んだ成果を反映してまいります。その他、先進地への視察研修は以下の表のとおりです。

事 務 所 名	視 察 研 修 先
向浜スポーツゾーン総合事務所	盛岡市立総合プール（岩手県）
〃	盛岡市アイスリンク（岩手県）
〃	いわて盛岡ボールパーク（岩手県）
〃	阪神甲子園球場（兵庫県）
中央公園事務所	県立北欧の杜公園
〃	展示販売会 毛と糸の市（会場：秋田ふるさと村）
県立体育館事務所	NAGASAKI STADIUM CITY、長崎県立総合体育館 SAGA サンライズパーク他

3. 社会貢献

(1) 事業活動を通じた社会貢献への取り組み

県立中央公園では、園内にあるフィールドアスレチックの開場 30 周年を節目とするセレモニーやアスレチックの利用料が無料になる記念イベント（7 月 13 日～15 日）を開催し、3 日間で 1,968 名が来場しました。さらに、来園機会の少ない層をターゲットとして、令和 7 年 3 月 15 日～16 日に「中央公園ハルノ市」を初開催しました。イベント企画運営を学校橋雑貨店と協働して行い、当日はクラフト 92 店、飲食 6 店が出店し、2 日間で 6,100 名が来場しました。

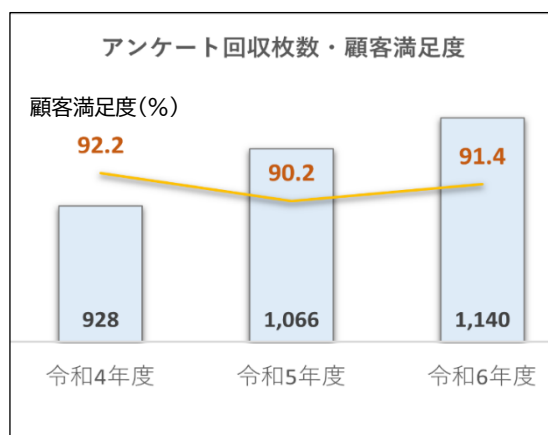


中央公園ハルノ市

県立総合射撃場では、岩城小学校でビームライフルの出前教室を令和 6 年度は 6 回開催しました。さらに、この教室に参加した生徒の中から秋田県ライフル射撃協会所属選手 2 名が誕生し、ライフル射撃競技の振興にも貢献することができました。

あきた芸術劇場ミルハスでは、秋田商工会議所などが主催する広小路バザールやロータスフェスティバルに併せて、施設内でのイベント開催や掲示物の展示などで協力しております。また、中心市街地活性化を目的に近隣施設と連携して施設開放イベントを開催し、ミルハス「フリー・オープン・ディ」の「ミルミルマルシェ」などには 4,515 名が来場しました。

(2) 利用者ニーズの把握と事業への反映



利用者ニーズの把握方法として、アンケート調査を実施しております。令和 6 年度は 1,140 枚を回収することができ、顧客満足度は 91.4%となりました。また、令和 6 年度には、県立中央公園内で軽食や菓子類の販売を希望する声にお応えするため、軽食販売機能付き自動販売機を複数業者との協議を重ねて設置しました。これにより、利用者からの感謝の声が寄せられております。

(3) S D G s 目標達成状況

S D G s 目標は、令和 3 年度から県登録 3 項目を含めた 9 項目を設定し、毎年 10 月に県登録状況を更新しております。令和 6 年度における達成状況は、以下の表のとおりとなりました。未達成の項目については、2030 年までに達成することを目指し、引き続き努力してまいります。

総合公社 S D G s 項目達成状況一覧（一部抜粋）

No	S D G s 項目	指 標	S D G s ゴール※	2024 年 達成状況
1	健康を提供するため施設利用を促進します。【県登録】	健康増進自主事業として健康応援教室等の実施回数を増やす。	3. 11. 7	達成中
2	有害物質の適切な処理・管理に努めます。【県登録】	環境保全事務所ビオトープの生態系維持に適切な水質を確保する。	6. 11. 15	達成中
3	女性が活躍できる職場づくりに努めます。【県登録】	係長以上の女性社員数を増加する。	5. 8. 10	未達成
4	県や市町村とのパートナーシップの強化に努めます。	指定管理業務の受託施設を増加させる。	11. 12. 17	達成中
5	施設の平等利用・校正利用の確保に努めます。	総合職社員全員にコンプライアンス研修を受講させる。	5. 10. 16	達成中
6	I C Tを活用して、施設の長寿命化に努めます。	ドローンによる施設点検回数を増加する。	9. 11. 12	未達成
7	地域等と連携したクリーンアップに努めます。	他企業、他団体及び地域と連携した合同クリーンアップの機会を増加する。	6. 11. 17	未達成
8	資格取得支援制度を活用して、働き甲斐のある運営に努めます。	公的資格支援制度の手当支給対象者数を増加する。	4. 5. 8	達成中
9	社員の処遇改善とモチベーションの向上に努めます。	内部登用試験合格社員数及び限定社員（無期転換）社員数を増加する。	8. 10	達成中

※ S D G s ゴール欄記載の数字は、N o 1 から 9 の各項目と関連性のある S D G s ゴール番号です。

4. 協働

(1) 教育機関との協働

県環境保全センターは県立図書館と協働し、9 月 12 日から 10 月 1 日まで、県立図書館 1 階エントランスホールでパネル展「秋田県環境保全センターからみえる 産業廃棄物処理のしくみ～最終処分場処理水でビオトープを整備！～」を開催しました。パネル展では、図書館利用者に対し、施設の紹介や搬入された産業廃棄物の処理過程に加え、施設内のビオトープに生息する生き物を紹介しました。また、関連図書の紹介コーナーも設置されました。

県立中央公園では、近隣 7 機関と「雄和椿川地区熊対策協議会」を組織し、下草刈りや雑木伐採を協力して取り組み、熊被害の未然防止に努めました。また、令和 6 年 4 月と 8 月には県自然保護課から講師を派遣していただき、国際教養大の学生向けに英語による熊対策啓発講座を開催いたしました。さらに、県立中央公園冬まつりで熊対策に関するパネル展示も行いました。



国際教養大学での講座

あきた芸術劇場ミルハスでは、7 月 18 日に劇団四季と共催で秋田市内小学校 19 校 1,200 名を招待し「劇団四季こころの劇場 エルコスの祈り」を開催しました。また、7 月 7 日に日生劇場と共催で「子どものためのダンスワークショップ」を開催したほか、9 月 5 日に秋田市等の小学 3 年生と 4 年生 1,649 名を招待し「ニッセイ音楽劇 あらしのよるに」を開催しました。

(2) 民間企業等との協働

秋田ケーブルテレビと協働し、平日昼に放送している「し〜なチャン」に不定期で出演し、管理施設のイベント情報を発信しました。また、「向浜こどもスタンプラリー」では、同社のキャラクター「秋田犬たれみみだいちゃん」が各会場に登場し、イベントを盛り上げてくれました。

あきた芸術劇場ミルハスでは、5 月 27 日に秋田県警察音楽隊の協力を得て「避難訓練コンサート」を開催しました。演奏中に災害が発生したとの想定で、当日の観客 310 名を客席から一旦所定の場所へ避難誘導した後、ホールに戻り警察音楽隊の演奏を楽しんでいただきました。



秋田犬たれみみだいちゃん



避難訓練コンサート

Ⅲ 定時評議員会及び理事会の開催

第 1 回理事会	令和 6 年 5 月 28 日
定時評議員会及び第 2 回理事会	令和 6 年 6 月 18 日
第 3 回理事会	令和 7 年 3 月 25 日
※理事・評議員による公社管理施設の視察及び情報交換会	
県環境保全センター	令和 6 年 8 月 21 日

IV 各事務所のビジョン達成状況

第3期計画で各事務所が策定した5年間のビジョンについて、令和6年度の達成状況は以下のとおりです。

事 務 所 名	ビジョンあるいは活動方針	具他体的活動・数値目標
環境保全事務所	【県・地域などとの連携】 県、地域住民及び関係団体との交流を深め、更なる信頼関係が構築されている。	①環境整備課と毎月1回月例報告を行い、情報共有を図った。 ②県主催の環境保全センター連絡協議会に出席し、大仙市、地元住民団体と施設の現状報告や意見交換を行った。 ③秋田県産業資源循環協会主催の研修会に2名参加した。
	【SDGsの取り組み】 ビオトープの水質基準の徹底と施設見学者への活用。	①毎月ビオトープの水質検査を実施した。 BOD：<0.5～0.8mg/l COD：0.6～2.6mg/l ②ビオトープ周辺は、定期的に草刈りや藻の回収作業を行った。 ③排水施設の見学者に対し、ビオトープへの案内を積極的に行い見学してもらった。 6件：23人 ④「ビオトープの生き物」のチラシを配布した。11枚
あきた芸術劇場事務所	【施設の利用促進】 人口減少や少子・高齢化が進行しても、年間利用者数35万人を確保する。	年間利用者数 令和6年度：367,046人
武道館事務所	【武道の普及振興】 武道まつり以外での武道（術）の普及振興を図る。	向浜こどもスタンプラリーの一環として、大道場にて武道（術）6団体の協力のもと、剣道、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道、武術太極拳の体験会を実施し、475名が参加した。

県立体育館 事務所	【新県立体育館への引継ぎ業務の推進】 新県立体育館への引継業務の準備ができている。	①県備品の確認作業を実施した。 ②令和 7 年度駐車場管理等について、県スポーツ振興課に確認した。 ③令和 7 年 3 月 3 日に、各競技団体と運営協議会を実施した。令和 7 年 3 月 11 日に、育成団体代表者会議を実施した。
	【利用促進と人材育成】 コロナ禍・工事による長期休館前の利用者人数を上回ることができている。	①利用促進は、貸切利用の予定がない日を「一般開放日」として開放した。12 月に屋外競技団体へ冬季間の練習会場として利用案内チラシを県スポーツ協会加盟団体、秋田市内中学校や秋田市と潟上市の高等学校などに配布した。 ②人材育成は、顧客対応研修 2 名受講させた他、事務所独自に接遇に関する勉強会を開催した。また、自主事業に関しては、各担当者が計画立案から完了まで実施できるように総合職社員がフォローした。
中央公園事務所	【新規自主事業の企画】 新たな自主事業を立ち上げることにより、施設の魅力発信と地域の賑わい創出を目指す。	新規自主事業の立ち上げ件数 令和 6 年度：3 件 新たな自主事業として、中央公園の施設見学ウォーキングで健康増進と認知度の向上を図り、積雪期にはハルノ市（クラフト展示市）を開催し、新規利用者の開拓を試みるなどした。
向浜スポーツ ゾーン総合事務所	【必要資格保有者の確保と計画的な資格取得】 プール監視員、野球場施設管理員がスキルアップされている。	①基礎水泳指導員 2 名取得 （令和 6 年度現在 資格保有者 5 名） ②芝草管理技術者 新規取得者なし （令和 6 年度現在 資格保有者 4 名） ③盛岡市立総合プール、盛岡市アイスリンク、いわて盛岡ボールパーク 視察

総合射撃場 事務所	【射撃競技の普及振興】 ビームライフル射撃の一般利用者はほとんどが一過性であり、継続性がないことが課題である。 企業（職場）や地域での射撃チーム作り、あるいは学校単位による団体利用の促進などにより利用者数の安定、定着が図られている状態を目指す。	令和6年6月2日の落雷により、9か月間ライフル棟が閉場を余儀なくされたため、①中学校の学校行事としてビームライフル射撃を組み入れた実績は0校であった。②職場チームや地域での射撃チーム作りの実績は0件であった。
循環器・脳脊髄 センター事務所	【委託業務の継続受注】 委託業務の継続的な契約を確保している。（県立循環器・脳脊髄センターは令和6年度末、県総合保健センターは令和7年度末に委託業務の更新期となる。）	県立循環器・脳脊髄センターと新たに3年間の委託契約を受注し締結した。 （受託機関：令和7年度から9年度）
	【社員の資質向上】 社員の資質向上と資格取得へのサポート体制が構築されている。	第二種電気工事士資格 新規2名取得 （令和6年度現在 資格保有者11名）

V 事業の実施実績

1. 施設管理運営事業

秋田県等から公の施設の管理運営指定や業務委託を受け、効率的かつ効果的な施設運営と利用者サービスの向上に努めました。

(1) 指定管理者制度による施設の管理運営事業

区分	施設名称
環境保全施設	秋田県環境保全センター
体育施設	秋田県立体育館、秋田県立武道館、秋田県立総合射撃場、 秋田県立総合プール、秋田県立野球場、秋田県立向浜運動広場、 秋田県立スケート場
文化施設	あきた芸術劇場ミルハス
公園施設	秋田県立中央公園

(2) 施設設備管理業務等に関する業務受託事業

区分	施設名称
医療施設	秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田県総合保健センター
環境保全施設	旧能代産業廃棄物処理センター

(3) 指定管理施設の利用実績

各施設の利用目標に対する実績は次のとおりです。

施設区分		R6 年度 目標(イ)	R6 年度 実績(ロ)	目標達成率 (ロ)／(イ)	
環境保全	秋田県環境保全センター	41,000	57,758	140.9%	
文化	あきた芸術劇場ミルハス	350,000	367,046	104.9%	
体育	秋田県立体育館	54,700	59,016	107.9%	A
	秋田県立武道館	225,000	174,908	77.7%	
	秋田県立総合射撃場（ライフル射撃場）	2,000	1,428	71.4%	B
	秋田県立総合射撃場（狩猟技術訓練施設）	800	1,131	141.4%	
	秋田県立総合プール	128,300	119,997	93.5%	
	秋田県立野球場	17,200	15,537	90.3%	C
	秋田県立向浜運動広場	9,820	18,478	188.2%	
	秋田県立スケート場	62,490	71,982	115.2%	
公園	秋田県立中央公園	489,000	687,099	140.5%	
合計（体育・公園施設）		989,310	1,149,576	116.1%	
合計（文化・体育・公園施設）		1,339,310	1,516,622	113.2%	

※単位について

秋田県環境保全センターは産業廃棄物の処分量（トン）、その他施設は利用者数（人）

【目標達成率、比較減についての特記事項】

A 秋田県立武道館：東北規模の大会数の減少や大会規模の縮小、開催予定の大規模イベントの中止（秋田プラチナ世代博等）やイベント来場者数の減少（子育て応援団すこやかあきた等）の影響のため。

B 秋田県立総合射撃場（ライフル射撃場）：6月2日に発生した落雷による停電とそれに伴う復旧作業期間中の閉場のため。

C 秋田県立野球場：プロ野球の観客が想定より少なかったため。

2. 文化・スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

(1) 文化普及事業

県立武道館を会場に、文化普及を目的に、文化や生涯学習に親しむことで日常生活が豊かになるよう各種教室を開催いたしました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
県立武道館	【文化育成事業】	
	・夏休みクレイクラフト教室	8月 3日 5人
	・バルーンアート教室	7月15日 4人
	【伝統文化継承事業】	
	・和太鼓教室(基本講座) 5回	6月～7月 39人
	・和太鼓教室(応用講座) 5回	9月～10月 35人
	・書道教室 6回	11月～12月 21人

(2) スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

県民のスポーツ活動ニーズに的確に対応し、施設の利用促進と生涯スポーツなどの普及・振興を図るため、各種事業を実施いたしました。公社主催で、県内トップスポーツチームに協力いただき、県立体育館を会場に「夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2024」を開催しました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
県立体育館 (企画事業部)	【スポーツ交流事業】	
	・夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2024	7月21日 44人
県立総合プール	【イベント事業】	
	・県立総合プール施設探検ツアー	R7年1月26日 中止
県立スケート場	【イベント等】	
	・クリスマスフェスティバル	12月22日 1,010人
	・バレンタインイベント	R7年2月9日 666人
県立中央公園	【イベント・レクリエーション事業】	
	・フィールドアスレチック開園30周年記念事業	7月13日～15日 1,968人
	・ふれあい親子クラブ2025 中央公園冬まつり	R7年 1月26日 2,800人



書道教室



夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2024

3. スポーツ振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

県立武道館を拠点として、武道教室やイベントの開催を通じて武道の普及振興を図るスポーツ振興事業を実施いたしました。また、各武道団体が日ごろの修練成果を発表する機会を提供いたしました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
県立武道館	【スポーツ教室事業】	
	・ 通年剣道教室 40 回	通年 1,140 人
	・ 初心者柔道教室 6 回	5 月 18 人
	・ 初心者合気道教室 5 回	10 月～11 月 46 人
	・ 初心者銃剣道教室 5 回	7 月～ 8 月 中止
	・ 太極拳教室(前期) 6 回	6 月～ 7 月 69 人
	・ 太極拳教室(後期) 6 回	9 月～10 月 53 人
	・ 太極拳体幹運動教室(前期) 5 回	7 月～ 8 月 中止
	・ 太極拳体幹運動教室(後期) 5 回	11 月～12 月 中止
	・ 親子スポーツチャンバラ教室(前期) 5 回	7 月～ 8 月 97 人
	・ 親子スポーツチャンバラ教室(後期) 5 回	12 月～R7 年 1 月 40 人
	・ 少林寺拳法で護身術体験教室 5 回	9 月～10 月 中止
	【イベント事業】	
	・ 県立武道館施設探検ツアー	9 月 16 日 16 人
	・ 第 17 回武道まつり	R7 年 1 月 13 日 1,055 人

4. 芸術文化発信事業

あきた芸術劇場ミルハスでは、県民が多様な芸術文化に触れる機会を創出し、秋田の豊かな文化を国内外へ発信する主催事業を実施いたしました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
あきた芸術劇場 ミルハス	【芸術性の高い公演や文化芸術を国内外に発信 する事業】	
	・劇団四季こころの劇場「エルコスの祈り」	7月18日 1,200人
	・ニッセイ音楽劇「あらしのよるに」	9月 5日 1,649人
	・わらび座ミュージカル「青春(アオハル)する べ！」	9月29日 400人
	・公立文化施設協会企画「松竹大歌舞伎公演」	11月11日 515人
	・あきた全国舞踊祭	12月7、8日 1,100人
	・あきた吹奏楽の日～大いなる秋田定期公演～	12月27日 1,000人
	・あきた民謡フェス vol.2	R7年2月9日 780人
	・山形交響楽団公演	R7年3月8日 1,808人
	・宝くじ文化公演「吉田正記念オーケストラ公演」	R7年3月29日 1,585人
	【県民市民が元気になる文化活動】	
	・ニッセイ名作シリーズ出演者等による ワークショップ	7月 7日 30人
	・ピアノマラソン	7月 7日 42組、46人
	・プロアーティストを講師とする作曲 ワークショップ	9月22日 15人
	・ミルハス小ホールのいろんな使い方を 試してみる企画（ライブハウス）	R7年3月20日 84人
	・避難訓練コンサート	5月27日 310人
	・施設マネジメント研修	10月 8日 16人
	・吹奏楽クリニック	R7年3月2日 18人
	・ミルハスロビーコンサート①	9月23日 (フリー・オープン・ディ)
	・ミルハスロビーコンサート②	12月24日 40人
	・バックステージツアー①・お仕事体験編	5月 6日 63人
	・バックステージツアー②・お仕事体験編	8月12日 65人
	・バックステージツアー③	R7年1月4日 220人

あきた芸術劇場 ミルハス	【公演・伝統芸能の映像資料等のアーカイブ】 ・公演などの資料保存 ・アーカイブ展示 【周辺施設と連携したにぎわい創出のための事業】 ・ナイトランタンイラスト展 「ロータスフェスティバル」との連携事業 ・ミルハスこどもプレイルーム 「広小路バザール」との連携事業 ・市民文化講演会 秋田市立中央図書館明徳館との連携事業 ・ミルハス珈琲友活 あきた結婚支援センターとの連携事業 ・写真展「ミルハスインスタフोटコンテスト」 お堀端の風景 第1期 お堀端の風景 第2期 ・フリー・オープン・ディ OTONARIさんプロジェクト 秋田市文化創造館、秋田市にぎわい交流館 AU との連携事業 ・鉄道ジオラマ見学会 秋田鉄道趣味会との連携事業 【共催事業】 ・野村万作×野村萬斎「狂言の世界」 ・假屋崎省吾×宮野恭輔 「花とピアノのコンチェルト」 ・私立恵比寿中学秋田分校 FINAL ・反田恭平 ピアノ・リサイタル	通年 通年 8月21日～31日 101 作品 7月15日 232 人 9月29日 729 人 R7年2月22日 110 人 R7年1月19日 45 人 7月1日～ 10月31日 11月1日～R7年2月28日 9月23日 4,515 人 R7年2月15日、16日 900 人 6月 8日 1,300 人 9月15日 700 人 11月16日 1,900 人 12月13日 1,700 人



吹奏楽クリニック



鉄道ジオラマ見学会

5. 収益事業

管理施設の特性を活かし、持続的な運営と地域社会への貢献を目指し、収益性の高い付加価値型スポーツ教室やイベントを開催いたしました。これにより、幅広い世代へのスポーツ参加を促進し、健康づくりの機会を創出いたしました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）	
県立体育館	【スポーツ教室事業】		
	・ ゆっくりかんたんヨガ 36 回	通 年	364 人
	・ 貯筋クラブ 20 回	通 年	368 人
	・ シニアからはじめるヒップホップ 41 回	通 年	199 人
	・ シニアボクシングエクササイズ&エアロ 27 回	通 年	169 人
	・ アクティブクラブ キッズ 32 回	通 年	250 人
	・ アクティブクラブ ジュニア 32 回	通 年	276 人
	・ アクティブフィット 18 回	通 年	175 人
	・ ノルディックウォーキング 7 回	4 月～11 月	80 人
	【イベント事業】		
	・ 坐禅と写経の夕べ	6 月 21 日	8 人
	【文化育成事業】		
	・ 陶芸教室	8 月 10 日	14 人
県立武道館	・ フェイクスイーツ教室	8 月 11 日	13 人
	・ シュガークラフト教室	12 月 7 日	10 人
	【スポーツ教室事業】		
	・ 健康応援教室 36 回	通 年	2,091 人
	【イベント事業】		
	・ ベビーマッサージ教室&サイン教室(前期) 6 回	5 月～ 7 月	中止
	・ ベビーマッサージ教室&サイン教室(後期) 6 回	8 月～10 月	74 人
	・ フラダンス教室(前期) 5 回	7 月～ 8 月	10 人
	・ フラダンス教室(後期) 5 回	9 月～10 月	9 人
	・ 幼児教室(前期) 6 回	6 月～ 8 月	106 人
	・ 幼児教室(後期) 6 回	9 月～11 月	98 人
県立中央公園	【レクリエーション事業】		
	・ ふれあい親子クラブ 2024「夏休み思い出作り隊」	7 月 27 日	中止
	・ 秋の謎解き大冒険	10 月 13 日	83 人
	【スポーツ交流事業】		
	・ 施設見学ウォーキング	11 月 9 日	6 人
	・ S K Y－D リーグ交流会（小学生サッカー）	R7 年 3 月 20 日	10 チーム

県立総合射撃場	【スポーツ教室事業】	
	・岩城小学校ビーム射撃クラブ	6回 6月～12月 70人
	【イベント事業】	
	・ビームライフルランクリスト	4月～7月 中止
	・ビームライフルランクリストファイナル	7月・10月 中止
県立向浜運動広場	・夏休み！家族対抗ビーム射撃大会	8月11日 中止
	・冬休み！家族対抗ビーム射撃大会	12月26日 中止
	【スポーツ教室事業】	
	・向浜テニス教室	16回 5月～10月 428人
	【スポーツ教室事業】	
県立総合プール (※振替日含む)	・ベビースイミング	8回 7月～9月 257人
	・キッズスイミング(水曜日)	34回 通年 780人
	・キッズスイミング(木曜日)	33回 通年 487人
	・ジュニアスイミング(水・木曜日)	各34回 通年 3,108人
	・レッドシャークス	34回 11月～3月 279人
	・おとなのためのスイミング	33回 通年 491人
	・キッズサマースイミング	前期3回 7月 52人
	・キッズサマースイミング	後期3回 7月～8月 54人
	・ジュニアサマースイミング	前期3回 7月 87人
	・ジュニアサマースイミング	後期3回 7月～8月 91人
	・親子 de レスキュー	7月6日 13人
	・長崎宏子の「SWIM TO SMILE！」	8月10日～11日 114人
	・ワンポイントレッスン	毎月1～2回 通年 8人
	【イベント等】	
	・県立総合プール施設探検ツアー	R7年1月24日中止
県立スケート場 (※振替日含む)	【スポーツ教室事業】	
	・スケート初心者教室	6回 12月～R7年1月 120人
	・キッズスケート教室	12回 11月～R7年2月 249人
	・ジュニアスケート教室	12回 11月～R7年2月 243人
	・ステップアップスケート教室	12回 11月～R7年2月 197人
	・放課後スケートクラブ	12回 11月～R7年2月 255人
	・冬休みスケート教室	6回 12月～R7年1月 215人
	・個人レッスン	8回 11月～R7年2月 7人



アクティブクラブ キッズ



健康応援教室

6. 人材育成事業

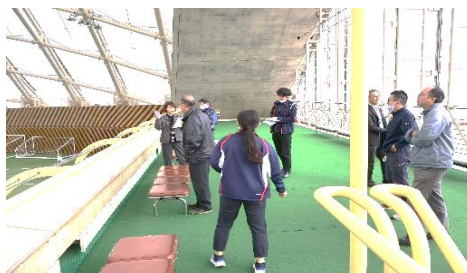
第3期計画の将来像「挑戦」「人財」「社会貢献」「協働」の実現に向け、第1期研修計画（R4～R6）の成果と課題を踏まえ、令和7年度から3年間の第2期研修計画を策定しました。組織の実行力強化を目指し、新規研修として、「クレーム対応・カスタマー対応研修」、「フィードバック面談・コーチング研修」を導入します。

なお、令和6年度は以下の社内研修を実施し、社員の資質向上に努めました。

研修カテゴリー	研 修 名	対 象 者
育成研修 (指定研修)	無期転換社員研修	無期転換社員
	顧客対応研修	全社員
	コンプライアンス研修	限定社員以上
	自律的思考獲得研修	主任～課長補佐
	マネジメント研修	課長～所属長
選択研修 (自己啓発研修)	eラーニング	限定社員以上
	事務所間交流研修	全社員
	普通・上級救命講習	全社員
業務関連研修		
その他研修		



顧客対応研修



事務所間交流研修

7. 連携・協働事業

(1) 施設連携事業

各事務所が連携し、多種多様なイベントや研修を企画・開催することで、公社の認知度向上、施設利用者の増加、そして施設の効果的な運営を推進しました。

実 施 施 設	内 容
県立総合プール、県立向浜運動広場 県立野球場、県立武道館、県立総合射撃場	向浜こどもスタンプラリー（5月5日） 475人
県立中央公園	事務所間交流研修（11月1日） 5人

(2) 企業・団体との連携・協働事業

企業、各種団体や地域団体へ魅力ある企画を提供することで、社会貢献と企業等のイメージアップを目指す企業等連携事業を実施しました。

あきた芸術劇場ミルハスは、公社、秋田魁新報社、スペースプロジェクトによるAAS共同事業体が運営しています。このほか、事業主体としてあきた結婚支援センター等と連携し、事業を実施しました。

実 施 施 設	内 容
県立体育館、企画事業部	【夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2024】（7月21日） 秋田ノーザンハピネッツ、秋田ノーザンブレッツ 44人（再掲）
向浜スポーツゾーン、 県立武道館、県立総合射撃場（出前講習）	【向浜こどもスタンプラリー】（5月5日） 県レクリエーション協会、県弓道連盟、県ライフル射撃協会 475人（再掲）
県環境保全センター、 企画事業部	【秋田県環境保全センターからみえる 産業廃棄物処理のしくみ ～最終処分場処理水でビオトープを整備！～】 （9月12日～10月1日）県立図書館
県立総合プール	【県立図書館連携事業】（6月～R7年2月） 県立図書館 【長崎宏子のSWIM TO SMILE！】（8月10,11日） 秋田県、（有）ゲンキなアトリエ 114人（再掲）

県立武道館	【第16回新春書初め席書大会】(R7年1月12日) (株)秋田魁新報社、県書道連盟 【第17回秋田県武道まつり】(R7年1月13日) 県内各武道(術)団体 1,055人(再掲)
県立中央公園	【施設見学ウォーキング】(11月9日) 秋田陸上競技協会 6人(再掲) 【ふれあい親子クラブ2025中央公園冬まつり】(R7年1月26日) 県レクリエーション協会、秋田東警察署、秋田南消防署雄和分署 自衛隊秋田地方協力本部 2,800人(再掲) 【中央公園「ハルノ市」】(R7年3月15,16日) 学校橋雑貨店 6,100人 【第8回SKY-Dリーグサッカー交流会】(R7年3月20日) 秋田県サッカー協会 10チーム(再掲)
あきた芸術劇場 ミルハス	【ナイトランタンイラスト展】(8月21日～31日) 秋田商工会議所 101作品(再掲) 【ミルハスこどもプレイルーム】(7月15日、9月29日) 秋田商工会議所 232人、729人(再掲) 【ミルハス珈琲友活】(R7年1月19日) あきた結婚支援センター 45人(再掲) 【フリー・オープン・ディOTONARIさんプロジェクト】 (9月23日)秋田市文化創造館、秋田市にぎわい交流館AU 4,515人(再掲) 【鉄道ジオラマ見学会】(R7年2月15、16日) 秋田鉄道趣味会 900人(再掲) 【市民文化講演会】(R7年2月22日) 秋田市立中央図書館明德館 110人(再掲)



こどもプレイルーム



県立図書館連携事業

8. 施設開放事業

年齢や経験に関わらず、誰もが気軽に管理施設を訪れ、スポーツや文化活動を楽しんでいただけるよう、こどもの日やスポーツの日といった祝日、イベント開催時などに、次のとおり施設開放いたしました。

事業名	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
無料開放事業	【祝日や記念日等の無料開放】 県立中央公園、県立総合射撃場、県立武道館、 県立総合プール、県立向浜運動広場 ・ こどもの日 ・ 向浜こどもスタンプラリー（再掲） ・ 県の記念日 ・ スポーツの日 【開場日・閉場日等に合わせた無料開放】 県立スケート場 ・ オープンサービスデー ・ クリスマスフェスティバル（再掲） ・ ファイナルサービスデー	5 月 5 日 2,042 人 5 月 5 日 475 人 8 月 29 日 215 人 10 月 14 日 1,143 人 10 月 20 日 90 人 12 月 22 日 1,010 人 R7 年 3 月 20 日 226 人
一般開放事業	【個人向け施設開放（有料）】 ・ 県立体育館 スポーツを楽しむ日 105 日（230 回） ・ 県立武道館 大道場一般開放（有料） 【団体向け施設開放（有料）】 ・ 県立野球場 県民開放	通年 3,376 人 通年 37 人 5 月 550 人
施設見学	【施設見学会】（あきた芸術劇場ミルハス） ・ バックステージツアー①～③ お仕事体験編（①&②）（再掲）	5 月 6 日 28 組 63 人 8 月 12 日 30 組 65 人 R7 年 1 月 4 日 220 人

9. 広報事業

(1) 公社が行った広報活動

多くの方に向けて、スポーツレクリエーションや芸術文化の魅力を広く伝えるため、広報誌の発行に加え、SNSや報道機関などの媒体を活用した広報活動を展開しました。

広 報 活 動	内 容
広報誌発行	公社管理施設の利用促進やスポーツ振興のため、広報誌「みんなのスポーツ・カルチャー」を年2回（春・夏号、秋・冬号 計10,650部）発行し、県内の小中学校や各地域に配布した。
テレビ番組への情報提供	秋田拠点センターアルヴェ内スタジオで、平日に公開生放送されている秋田ケーブルテレビ（CNA）の情報番組「し～なチャン」に公社社員が出演し、公社自主事業について広報した。 ※出演実績（ミルハス単独出演数含む） 令和6年度（5月～R7年3月）14回
ウェブサイトの活用	公社公式ウェブサイトで、施設の予約状況（貸館空き情報）、主催事業のお知らせ、各施設へのアクセス等の情報発信を行った。さらに、令和4年5月から公社の公式Instagramの運用を開始し、主催事業の様子や各施設周辺の景観の紹介などを発信した。 【ウェブサイトへのアクセス実績 令和6年度 336,611件】 【ブログへのアクセス実績 令和6年度 84,816件】 【Instagramへのアクセス実績 令和6年度 38,427件】
秋田魁新報「週刊さがけスポーツコラム」への寄稿	令和3年度から継続して、「週刊さがけスポーツ」の「県内スポーツだより」に4月～令和7年3月の月1回、公社が管理運営しているスポーツ施設運営の苦労話や自主事業の話題などを寄稿した。
パブリシティの活用	県政記者クラブや秋田市企画財政部広報広聴課（広報あきた）へ公社自主事業の広報を行った。また、県内のメディアを社員が訪問し、担当者へ直接情報提供を行った。



「し～なチャン」への出演



広報誌「みんなのスポーツ&カルチャー」

(2) 公社のパブリシティ事例

報 道 機 関	掲 載 日	掲 載 内 容
秋田魁新報	5 月 6 日	・ 秋田市・各地で「こどもの日」行事 多彩な催しに笑顔「向浜こどもスタンプラリー」
	5 月 31 日	・ こまち球場、椅子席外し雨漏り工事 3 日から大規模改修 使用再開は 25 年 4 月
	7 月 7 日	・ 水難事故、身を守るには 秋田市の県立総合プールで親子安全教室 救助の待ち方、着衣で体験
	12 月 11 日	・ 県立総合プールにビート板 30 枚寄贈
	R7 年 1 月 30 日	・ 冬の遊び、思う存分 秋田市の県立中央公園で「県立中央公園冬まつり」

10. 社会貢献事業

公社では、自主事業や施設利用の中で環境保全活動や地域清掃活動、地域行事への参加などの社会貢献に取り組みました。

実 施 施 設	内 容
県環境保全センター	【第 22 回あきたエコフェス】10 月 12 日、13 日 あきたエコフェス実行委員会主催で、秋田駅前アゴラ広場・大屋根通りなどを会場に開催し、2 日間で 48,000 人が来場した。県環境保全センターや公社の活動を紹介するパネル展示を行い、来場者向けに展示内容に関するクイズを実施、施設や環境保全活動等への理解を深める機会を提供した。 【施設へのアクセス道路・古種沢川のクリーンアップ】 アクセス道路である市道のクリーンアップを 4 月～10 月に計 8 回、処理水を放流する古種沢川の清掃を 6 月に実施した。
向浜スポーツゾーン	【向浜スポーツゾーン地区クリーンアップ】4 月 15 日、7 月 16 日 環境意識の啓発活動の一環として、年 2 回実施した。
県立武道館	【武道体験会】5 月 5 日 同日に開催した「向浜こどもスタンプラリー」の一環として、6 武道（剣道、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道、武術太極拳）の体験会を大道場で実施し、武道の普及振興に努めた。
県立体育館	【ニュースポーツ用具貸出事業】 地域住民の健康増進と交流促進のため、ニュースポーツの普及活動を通じて生涯スポーツを振興し、地域スポーツ団体の活動を支援することで、地域全体のスポーツ振興に貢献した。

県立中央公園	【雄和椿川地区熊対策協議会の活動】 ・既設緩衝地帯の維持管理作業 5月～11月 ・既設看板等の維持管理および更新 5月～11月 ・協議会会員による雑木林下草刈り作業 6月18日 ・業者委託による整理伐・下草刈り作業 8月13日 ・熊注意喚起用ティッシュペーパー、 爆竹、熊よけアラーム配布 7月、9月 10月、11月 ・啓発活動 ふれあい親子クラブ2025 R7年1月26日 中央公園冬まつり 国際教養大学「熊対策啓発講座」 1回目4月4日 2回目8月30日
--------	--

11. その他関連事業

(1) 事務所チャレンジ支援事業

令和6年度より開始した事務所チャレンジ支援事業制度を活用して、新たに次の事業を開始いたしました。

実施施設・部署	内 容
向浜スポーツゾーン・県立総合プール	トレーニングルーム整備事業

(2) 商品販売やサービス提供等の事業

管理施設において、利用者の利便性向上を図るため、商品販売及びサービス提供等を実施いたしました。

実施施設・部署	内 容
向浜スポーツゾーン	県立スケート場公社オフィシャルキャラクター「かまくまくん」のグッズ販売活動
スポーツ施設	イベントにおけるにぎわい創出としての綿あめやポップコーンの販売活動
スポーツ・文化・公園施設	管理施設内での飲料水等自動販売機の設置
運営本部事務局 企画事業部	公社が所有するポップコーン機の貸出
県立スケート場	喫茶ホールの営業活動
県立循環器・脳脊髄センター	洗濯機と乾燥機の設置